



人の喜びが自分の喜び

手作り工房「木之本塾」事務局長

小森 康子さん (木之本町木之本)

撮影場所：手作り工房木之本塾 (木之本町木之本)

「人とひととのつながりを大切にしたい」。優しく話す表情は、人をほっとするような雰囲気包んでくれます。小森さんは木之本北国街道沿い、誰もが気楽に立ち寄れ、古民家の温もりを感じられる手作り工房「木之本塾」の事務局長です。

小森さんは退職後、空き家を調査する仕事でいろいろな空き家の利活用を提案する中、自分でも地元木之本の空き家で地域に貢献できないかと一念発起。空き店舗を利用し、住民参加型で手づくり作品、文化を発信するコミュニティの場として、教える場や学ぶ場、集う場、憩う場を提供。そして地域の活性化や町並み・古民家の保存、伝統文芸文化の承継を目的に、平成26年7月、仲間とともに「木之本塾」を設立します。

当初は、教室の数も少なくイベントな

ども少人数のスタッフで活動していたため「やっていけるのだろうか」とくじけそうになることもあったり、周囲からは「長続きしないのでは」との心配の声もありました。しかし、日本文化の承継という信念は揺るがず努力を続ける毎日。徐々に教室や生徒の数も増え、今ではカレンダーのほぼすべての日に教室やイベントの予定が書き込まれ、月200人を超える人が集うようになりました。そこには、「手伝える時には手伝うよ」と言ってくれる多くのボランティアが大きな助けになっていると話します。

楽しく快適に教室ができる環境づくりや、講師や生徒さん一人ひとりへの声掛けを欠かさない小森さん。その細かな気遣いと気さくな性格から、人とひとのつながりが広がっていきます。モ

スクワへ留学しているチェロ奏者や、著名な染物作家などとのつながりができ、「木之本塾」ならと力を貸してくれます。「最初2、3年は自分の思いであくせくして失敗もしましたし、人ひとりですることには限界を感じました。今では多くの助けがあり役割分担もでき、みんなで今後を見据えた活動ができるようになりました」と話します。

自身も三味線などを習い、日本文化への探求心を忘れない小森さんの夢は、邦楽器の糸の産地の木之本に全国から集ってもらえる「和楽器の音楽祭」の開催。「人となりが、寄り添い、支えることが私の役割。先生や生徒さん、スタッフがみんな笑顔で楽しめる場所にしていきたい」。この思いを一つにする仲間たちとともに、小森さんは今日も活動を続けます。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。



毎日元気いっぱい、たくさん笑顔
をありがとう！4月からの入園で、
ちょっぴりお姉ちゃんだね♡

山崎 奏音 ちゃん (平成28年11月生まれ)
(高月町東柳野)

佐野 蒼蓮 ちゃん (平成30年5月生まれ) 右
蒼一郎 ちゃん (平成28年2月生まれ) 左
(高月町渡岸寺)



いつも元気な蒼ちゃんと蓮くん。
家族をたくさん笑わせてくれてありがとう♡
これからもみんなで色んな経験していこうね♪

まちの人口

令和2年 2月1日現在	人口 117,742人	男 57,770人	女 59,972人	世帯数 46,255世帯
令和2年 1月中の異動	転入 158人	転出 233人	出生 76人	死亡 150人 婚姻 17件



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、まちづくりセンターなど市の公共施設やスーパーなどにも置いています。市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の人は市民広報課まで。